

かわら版あおば消防通信 47号

平成30年5月発行：横浜市青葉消防署 協賛：青葉火災予防協会

熱中症に注意しましょう！！

●熱中症とは!?

温度や湿度が高いなかで、体内の水分や塩分（ナトリウムなど）のバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、体のだるさ、ひどいときにはけいれんや意識の異常など、様々な障害をおこす症状のことです。

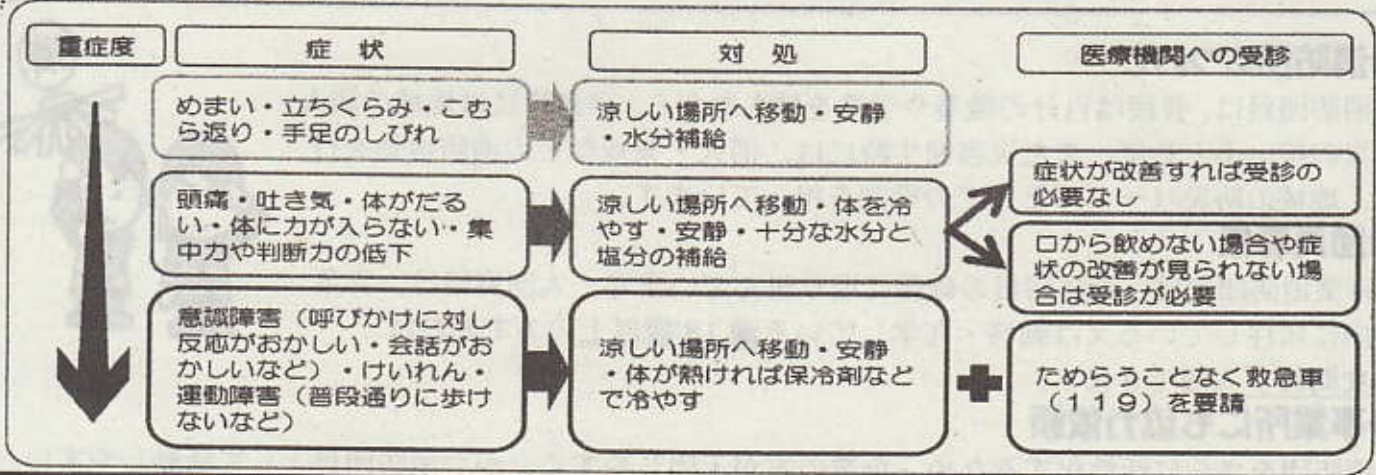
家の中でじっとしていても、室温や湿度が高い時は、体から熱がにげにくく熱中症になる場合がありますので、注意が必要です。



●予防のポイント

- ・のどが渇く前に、こまめに水分・塩分・経口補水液を補給する。
- ・運動などで多く汗をかく人は、意識して塩分補給をする。
- ・蒸し暑いときは、エアコン、扇風機やシャワーを浴びるなどにより、体を涼しくする。
- ・体調が悪いときは、近くにいる人、友人や家族などに、すぐ助けを求める。
- ・意識がない、もうろうとしている症状が有る場合は、119番通報をする。

熱中症の分類と対処方法



急な病気やけがで迷ったら・・・^{シャープ} # 7119

「横浜市救急相談センター」をご存知ですか？ 医療機関の案内、救急電話相談を行っています。

^{シャープ} ☎ # 7119 又は ☎045-222-7119 (年中無休 24時間対応！)

音声ガイドが流れますので、次の①か②を選択してください。

- ① 受診できる病院を知りたい(音声案内により病院・診療所を案内します。)
- ② 救急電話相談(看護師が緊急性や受診の必要性についてアドバイスします。)

家庭防災員研修がスタートします！！

●家庭防災員とは！？

防災に関する知識、技術を身につける研修で、自らの家庭を守るとともに、その知識や技術が隣近所に伝わることで、地域の「防災力」の向上につなげていくことを目的としています。

研修を受講した家庭防災員は、地域での消防訓練などに参加し地域防災の担い手となることが期待されています。原則として、自治会・町内会長の推薦が参加の条件となります。



【日程】5月下旬～7月下旬

【内容】

- ① 防火研修
- ② 救急研修
- ③ 地震研修
- ④ 風水害研修
- ⑤ 災害図上訓練(DIG)研修

【問合せ先】

青葉消防署 予防課 予防係
045-974-0119 平日8:45～17:00

地域を守る！消防団員募集中！！

●消防団について

消防団員は、普段は自分の職業や学業を持ちながら、平常時には地域の防火・防災の担い手として、また災害発生時には、消火・警戒などの消防活動を行い、地域の防災リーダーとしての役割を担っています。

●団員募集

青葉消防団では、消防団員の確保に取り組んでいます。入団資格は、青葉区内に居住している又は勤務・在学している満18歳以上の方であれば、男女問わず入団できます。

●事業所にも協力依頼

消防団をさらに活性化するため、企業の方が入団しやすく、かつ消防団員として活動しやすい環境整備の一つとして※1「消防団協力事業所表示制度」があります。各企業の皆さまに、消防団活動へのご理解とご協力を依頼し、従業員の皆さまの入団をお願いしています。

※1 制度による認定：青葉区内7事業所(平成30年5月現在)



【問合せ先】青葉消防署 庶務課 消防団係
045-974-0119

～平成30年度全国統一防火標語～

忘れてない？サイフにスマホに火の確認